



X 資料

1 平成26年度年度計画

I 大学の教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置

ア 特色ある教育の実施

- 卒業時のアンケート等により共通教育科目の効果検証を実施し、抽出された課題を踏まえ、新カリキュラム導入に向けた共通教育科目の見直し案を検討する。
※指標：共通教育科目の効果検証の実施 26年度
- 学部及び研究科ごとの課題を踏まえ、横断型連携教育を実施するとともに、公開発表会のアンケート等による効果検証を継続して行う。
※指標：学部及び研究科における横断型連携教育の効果検証の実施 26年度
- 博士後期課程の完成に向けて、設置認可申請に基づいた教育を展開するとともに、文部科学省への履行状況報告を適切に実施する。
- 博士前期課程教育の検証に着手する。
- 平成25年度に実施した本学におけるグローバルな人材育成教育にかかる現状の課題整理及び先進事例の調査結果を踏まえ、新カリキュラムの導入に向けた取り組みを進める。

イ 時代に即した教育課程の編成

- ディプロマポリシー（学位授与の方針）に基づき、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）を検討する。
- 卒業時のアンケート等に基づき、学部学生の卒業時の学習到達度の検証を本格実施する。
※指標：学習到達度検証の本格実施 26年度

ウ 入学者選抜方法の検証と見直し

- アドミッションポリシーの他大学調査を継続し、明文化されたディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーの検討状況を踏まえ、アドミッションポリシーの見直しに向けた検討を行う。
- 各入学者選抜方法を検証するため、入学者アンケート結果及び志願状況（小論文又は実技の科目選択状況を含む）の分析を行うとともに、平成19～25年度入学者の入学後の成績等をもとに、追跡調査を行う。
- 高校生、保護者等へ本学の活動内容を周知するため、オープンキャンパスの開催、進学相談会、出前授業等への参加により多様な機会を設けるとともに、高等学校の教員を対象とする大学説明会を継続して開催する。
※指標：オープンキャンパス受入計画数 延べ880名
- 本学に関心をもってもらうため、中学生を対象とした広報活動を継続して実施する。

エ 教育方法の改善等

- 平成25年度に導入した、1年次における半期ごとの登録単位の上限の適切性について、学生の履修状況等を調査する。
- GPA制度を活用した履修指導を継続する。
- 公平かつ適切な成績評価を実施するため、各科目における成績評価基準や成績評価の状況を検証する。
- 平成25年度に導入した学部連携演習の評価基準、評価方法について検証する。
※指標：成績評価の検証 26年度

(2) 教育の実施体制に関する目標を達成するための措置

- 授業内容及び方法の改善を図るため、学生に対する授業評価アンケート及び卒業時の学生



に対する調査を実施し、その結果を教員へフィードバックする。

※指標：授業評価アンケート 学期ごと実施

授業評価アンケートの検証 26年度

卒業時の学生に対する調査 年1回実施

- 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、平成24・25年度に開催した教員ワークショップ等のFD研修会の内容及び平成25年度に作成したFDマップをもとに、平成26年度FD研修会実施計画を策定し、成績評価・授業方法等の改善に資するFD研修会を計画的に実施し検証を行う。

※指標：FD研修会開催 7回以上

(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- 産業界、保健・医療・福祉関係とのコンソーシアム（共同事業体）構築に向けて、デザイン関係団体、経済団体、保健・医療・福祉関係団体と連携し、平成24年度に採択された文部科学省の補助事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の取り組み（3ヵ年）を実施する。

平成26年度には往還型研修や業界別のポートフォリオ研修会等を実施し、この取り組みを通して、企業、各団体及び卒業生と意見交換・討論会やワークショップなどを行い連携を強化し、コンソーシアム構築へ準備を進める。

- 通年のキャリアガイダンスを継続し、学生の進路希望調査をもとに、学部の特長や学生ニーズに合わせて職場適応力及び職業適応力に留意したプログラムを実施する。
- 就職活動解禁日(3月1日)の後ろ倒し及びそれに伴う企業採用活動の実質早期化への対応のため、特に影響の大きいデザイン学部において、各年次の学習目的を明確にしたキャリアガイダンスを2年次まで拡大し充実を図る。
- 学生への情報伝達の改善に向けて、現状の課題及び先進事例調査等を踏まえ、情報伝達の改善に必要なシステム機能等の仕様を策定する。
- 留学生を対象にしたチューター制度を継続して実施するとともに、留学生及びチューターとなった学生からの意見聴取等によって得られた課題に基づき、支援内容の充実を図る。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置

- デザイン分野と看護分野が連携してウェルネス研究を推進する。

※指標：デザイン分野と看護分野が連携した研究数 6件

- 今後の分野横断型連携を視野に入れながら、獲得済みの大型科研費（平成25～27年度）の研究を推進する。

- 科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率72%を達成する。

※指標：科学研究費補助金の新規応募及び継続申請を合わせた申請率 72%

- 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」を継続し、教員の研究成果を、評価の高い学術誌や著書、国際学会・国際展示会等に積極的に発表することを促進する。

- 学術奨励研究費に「学術論文掲載料等補助」を新設し、国際学会誌への発表を促進する。

※指標：国際学会等における発表件数 10件以上

(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置

ア 地域連携の強化

- 産学連携に係る地域連携研究センターの機能強化を図るため、地域連携相談窓口への相談件数を増やすことを目的としてPR活動を行う。また、「研究・活動事例集」ならびに「研究成果報告集」を継続して発刊する。

※指標：共同研究・受託研究の数（研究支援目的の寄附金を含む） 14件/年

- サテライトキャンパスの稼働率の分析を継続して行い、本学と学外機関との連携の場としての活用を促進する。

- 外部機関や他大学等との連携の場として、地域連携研究センターがサテライトキャンパスを活用する。



※指標：外部機関や他大学等との連携の場としての活用 40件以上/年

II 地域貢献、国際化、大学間連携に関する目標を達成するための措置

1 地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 札幌市等のまちづくりへの貢献に関する目標を達成するための措置

- ・ 学内の地域貢献に関わる情報の集約と発信に積極的に取り組む。
- ・ 産業界とのネットワークを活用し、産学連携等に関わる情報を入手し、学内に発信する。
- ・ 学内のシーズ発掘に取り組むとともに、教員の研究成果の公表等、ネットワークづくりに向けた取り組みを進める。
- ・ 北海道立総合研究機構や北海道医療福祉産業研究会等と連携して研究に取り組むとともにセミナーや講演会等を開催する。

※指標：まちづくりに貢献した事例数 100件以上/年

※指標：産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワーク構築 26年度

(2) 市民への学習機会の提供に関する目標を達成するための措置

- ・ 公開講座の充実を図り、受講者の満足度をアンケート等で確認する。
- ・ 公開講座の体系化を踏まえ内容を充実させ、大学の知的資源の地域への還元に取り組む。
- ・ COC事業と連携し、さっぽろ夜学校等の専門職向けの公開講座の継続的な実施を行う。また、認定看護管理者教育課程サードレベル等の専門職業人を対象とした支援講座等を実施する。

※指標：専門職業人支援講座等開催 225時間以上/年

2 国際化に関する目標を達成するための措置

- ・ 国際化に関する方針に基づき、方針で掲げた4つの戦略である「学生の国際化」、「教職員の国際化」、「提携校との交流の活性化」、「海外とのネットワーク化」を推進する。
 - ・ 海外提携校を中心とした学生及び教員の海外への派遣と受入れを実施する。
- ※指標：教員・学生派遣受入 10人以上
- ・ 共同研究費募集の際に、海外提携校ならびに提携の可能性がある機関との取り組みについて積極的に募集する。

3 大学間連携に関する目標を達成するための措置

- ・ 第二期経営戦略で掲げた「地域創成の核となる大学づくり（Center of Community）」を推進するとともに、地域課題の解決に資するため、他大学と連携した取り組みを検討し、将来的な大学間ネットワークの形成につなげていく。

III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

1 運営体制・手法に関する目標を達成するための措置

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- ・ 平成25年度に策定した実行プログラムを踏まえ、第二期経営戦略の計画的な推進に取り組む。
- ・ 平成25年度に新設した経営会議、教育研究企画会議、学外連携企画会議を機動的に開催・運営し、理事長（学長）のリーダーシップが適切に発揮できるように取り組む。

(2) 教職員の配置・定員の適正化に関する目標を達成するための措置

ア 教職員配置の適正化

- ・ 予算及びその基準となる定員計画等に基づき、適正に教職員を配置するとともに検証を行う。

イ 職員の育成



- ・平成26年度末に、市派遣職員を1名引き上げるとともに、それに伴う職員の採用を行う。
※指標：札幌市派遣職員の引揚げ 1名/年
- ・平成24年度に策定した人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供するとともに、受講履歴を管理する。
- ・平成25年度に始めた研修成果発表会を継続して開催し、研修受講者の研修成果を自ら振り返り、他の事務局職員へのフィードバックを行う。

(3) 教員評価制度に関する目標を達成するための措置

- ・平成25年度に見直した新たな教員活動実績申告書により、年度上半期中に教員評価を実施する。

2 事務の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- ・第二期経営戦略を踏まえ、効率的な事務執行に向けた職員配置・人事異動を行う。
- ・時間外労働を削減するための取り組みを事務局全課体制で実施する。
※指標：超過勤務時間の削減 前年度比減

3 広報の充実に関する目標を達成するための措置

- ・広報戦略の行動計画を実施する。

IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1 自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- ・科学研究費補助金を含む外部資金の募集情報に関して、e-Radなどの情報提供手段を教員に対して周知する。

※指標：教員向け情報提供 年3回実施

- ・科学研究費補助金の申請支援の強化策として、引き続き、以下の支援策を展開する。
 - －科学研究費補助金採択者の了承を得た申請書の公開
 - －原則全教員が参加する教員会議の場等を活用した申請の促進
 - －事務局内の科学研究費補助金申請支援担当者による申請書の確認
- ・寄附金等を活用した基金について、指標である平成28年度の設置に向けて継続して検討を行う。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

- ・平成26年度予算の運営費交付金査定において枠として査定されている教育経費、教育研究支援経費、一般管理費について、その執行の際に義務的経費の抑制に努め、捻出された経費を優先度の高い事業等へ充当する。
- ・基幹ネットワークシステムの更新にあたり、管理費用の抑制を実現する。

V 自己点検・評価に関する目標を達成するための措置

- ・マネジメントサイクルによる自己点検・評価を実施し、半期（中期計画大項目第4、第5、第7にかかる計画は四半期ごと）の年度計画の進捗管理を行う。
- ・認証評価及び札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果を受け、改善が必要な事項については、適宜大学運営に反映させる。
- ・自己点検・評価委員会は、認証評価機関の評価項目及び評価基準に基づき、次回の自己点検・評価の実施に向け必要な資料を作成、蓄積する。

VI その他業務運営に関する目標を達成するための措置

1 施設・設備の整備・維持管理に関する目標を達成するための措置

(1) 教育研究環境の充実に関する目標

- ・施設整備費補助金による冷暖房設備保全工事を適正に実施する。
- ・桑園キャンパス外壁改修工事及び芸術の森キャンパス暖房給湯設備等更新工事実施設計を



適正に実施する。

- ・ 平成27年度施設整備費補助金の予算要求を行う。
- ・ 札幌市の次期中期計画を視野に入れ、平成27年度から5年程度を目安に保全計画の内容や費用の精査を進める。
- ・ 年間2,000冊程度の図書を整備し、図書館の蔵書の充実を図る。
- ・ 電子ジャーナル、データベースの購読契約にかかわる方針を策定する。
- ・ 教育研究備品整備費（10,000千円）について、経営会議において検討し適切に執行する。
- ・ 平成27年度の予算編成に向け、学内調整を行う。
- ・ 学位論文、学術情報等の集積、提供などの機能充実のために、機関リポジトリの導入を図り、公開する。
- ・ 学内利用者に対する文献検索に関するガイダンス等を実施し、図書館利用に関する情報提供の機会を設ける。

(2) キャンパスの活用に関する目標を達成するための措置

- ・ 平成25年度に取りまとめたキャンパス活用等に関するプランの骨子（案）を基に、教員・学生等の意見集約を行い、プラン骨子を策定する。

2 安全管理等に関する目標を達成するための措置

(1) 安全管理の徹底に関する目標を達成するための措置

- ・ 全学的な安全衛生管理において、可能な限りのリスク低減を実現するため、危機管理基本マニュアルの見直しと併せた検討を進める。
- ・ キャンパスハラスメントの防止に向けた周知、啓発等を継続的に実施する。
- ・ キャンパスハラスメントに関する相談や申出があった場合には適切に対応し、防止に向けた改善策を実施する。

(2) 災害時の対応に関する目標を達成するための措置

- ・ 全学的な危機管理に関して、平成25年度に策定した見直し骨子に基づく危機管理基本マニュアルの見直しを進める。

3 環境に関する目標を達成するための措置

- ・ 施設管理支援システム（CAFМ）を活用し、施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発を行うなど、省エネルギー対策の取り組みを継続する。

※指標：エネルギー消費量 前年度比減

VII 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

別紙参照

VIII 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

2億円

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

IX 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし。

X 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。



XI 施設及び設備に関する計画

- ・ 経常的修繕 8,797千円
- ・ 芸森GHAB棟空調設備更新工事 174,000千円
- ・ 芸森エントランス、アリーナ空調設備更新等設計業務 2,116千円
- ・ 桑園外壁修繕工事 29,884千円

(注) 金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

XII 人事に関する計画

1 教職員配置の適正化

- ・ 予算及びその基準となる定員計画等に基づき、適正に教職員を配置するとともに検証を行う。(再掲)

2 職員の育成

- ・ 平成26年度末に、市派遣職員を1名引き上げるとともに、それに伴う職員の採用を行う。(再掲)

3 研修の充実

- ・ 平成24年度に策定した人材育成基本方針に基づき、研修受講機会を適切に提供するとともに、受講履歴を管理する。(再掲)
- ・ 平成25年度に始めた研修成果発表会を継続して開催し、研修受講者の研修成果を自ら振り返り、他の事務局職員へのフィードバックを行う。(再掲)

別紙 予算、収支計画、資金計画 (人件費の見積りを含む)

1. 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,522
施設整備費補助金	206
授業料等収入	481
受託研究等収入及び寄附金収入	27
補助金収入	62
その他収入	22
目的積立金取崩	11
計	2,331
支出	
教育研究経費	445
受託研究等経費及び寄附金事業費等	27
人件費	1,242
一般管理費	349
施設整備費	206
補助金事業費	62
計	2,331



2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,184
教育研究経費	454
受託研究等費	24
人件費	1,242
一般管理費	307
財務費用	4
減価償却費	153
収益の部	
経常収益	2,173
運営費交付金収益	1,504
授業料等収益	503
受託研究等収益	27
補助金収益	62
資産見返運営費交付金戻入	40
資産見返寄附金戻入	4
資産見返物品受贈額戻入	8
資産見返補助金戻入	3
雑益	22
その他収益	22
純利益（純損失）	△11
目的積立金取崩益	11
総利益（総損失）	0



3. 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,506
業務活動による支出	2,006
投資活動による支出	224
財務活動による支出	101
翌年度への繰越金	175
資金収入	2,506
業務活動による収入	2,114
運営費交付金による収入	1,522
授業料及び入学検定料による収入	481
受託研究等による収入	27
補助金等による収入	62
その他収入	22
投資活動による収入	206
施設費による収入	206
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	186

2 平成26年度決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,522	1,522	—	
施設整備費補助金	206	200	△ 6	
授業料等収入	481	467	△ 14	(注1)
受託研究等収入及び寄附金収入	27	35	8	
補助金収入	62	68	6	
その他収入	22	21	△ 1	
目的積立金取崩	11	18	7	(注2)
計	2,331	2,331	—	
支出				
教育研究経費	445	426	△ 19	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	27	30	3	
人件費	1,242	1,283	41	(注4)
一般管理費	349	351	2	
施設整備費	206	200	△ 6	
補助金事業費	62	69	7	
計	2,331	2,359	28	
収入-支出	—	△ 28	△ 28	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算積算における学生数に比べ実際の学生数が少なかったため、減少しました。
(注2) 基幹ネットワークシステム設計構築費に係る一部費用分を予算補正したため、増加しました。
(注3) 業務の効率的運営（リース契約の見直し等）により、減少しました。
(注4) 定年退職以外の教員退職金、人事院勧告及び札幌市人事委員会勧告の本学への適用等により、増加しました。



3 教職員数（平成27年3月31日現在）

1) 学部別教員数（単位：名）

学 長	1
副 学 長	1
デザイン学部	36
看護学部	42
合計	80

2) 職位別教員数（単位：名）

		教授	准教授	講師	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	17	4	7	3	0	31	32
	女	1	1	3	0	0	5	13
看護学部	男	1	2	0	0	2	5	32
	女	10	8	10	5	4	37	20
合計		29	15	20	8	6	78	97

3) 職員数（単位：名）

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	22	2	0	0	0	24
女	48	4	0	0	0	52
合計	70	6	0	0	0	76

4 管理職一覧表（平成27年3月31日現在）

役職名	教職員名
学長	蓮見 孝
副学長 兼 看護学研究科長	中村 恵子
デザイン学部長	酒井 正幸
看護学部長	樋之津 淳子
デザイン研究科長	城間 祥之
地域連携研究センター長	上遠野 敏
附属図書館長	山本 勝則
事務局長	林 泰男
事務局次長 兼 経営企画課長	川上 敏正
事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	吉田 雅博
事務局総務課長	西村 剛
事務局地域連携課長	上田 理子
事務局学生課長	烝野 直樹
事務局桑園担当課長	布廣 成規



5 教員一覧表（平成27年3月31日現在）

デザイン学部		看護学部		教育支援プロジェクトセンター	
職位	教員名	職位	教員名	職位	教員名
教授	蓮見 孝	教授	中村 恵子	特任助教	藪谷 祐介
教授	酒井 正幸	教授	樋之津 淳子	特任助教	中田 亜由美
教授	城間 祥之	教授	山本 勝則		
教授	上遠野 敏	教授	宮崎 みち子		
名誉教授・特任教授	原田 昭	教授	猪股 千代子		
教授	石井 雅博	教授	小田 和美		
教授	石崎 友紀	教授	河原田 まり子		
教授	齋藤 利明	教授	川村 三希子		
教授	杉 哲夫	教授	坂倉 恵美子		
教授	武邑 光裕	教授	定廣 和香子		
教授	中原 宏	教授	スーディ神崎 和代		
教授	羽深 久夫	教授	松浦 和代		
教授	原 俊彦	准教授	上村 浩太		
教授	細谷 多聞	准教授	大野 夏代		
教授	町田 佳世子	准教授	貝谷 敏子		
教授	矢部 和夫	准教授	菊地 ひろみ		
教授	吉田 和夫	准教授	清水 光子		
教授	吉田 恵介	准教授	菅原 美樹		
准教授	柿山 浩一郎	准教授	古都 昌子		
准教授	斉藤 雅也	准教授	村松 真澄		
准教授	武田 亘明	准教授	守村 洋		
准教授	張 浦華	准教授	山田 典子		
准教授	山田 良	講師	太田 晴美		
講師	石田 勝也	講師	神島 滋子		
講師	上田 裕文	講師	櫻井 繭子		
講師	大渕 一博	講師	田中 広美		
講師	片山 めぐみ	講師	原井 美佳		
講師	小宮 加容子	講師	藤井 瑞恵		
講師	杉本 達應	講師	三上 智子		
講師	福田 大年	講師	山内 まゆみ		
講師	松井 美穂	講師	山本 真由美		
講師	松永 康佑	講師	渡邊 由加利		
講師	三谷 篤史	助教	工藤 京子		
助教	金子 晋也	助教	多賀 昌江		
助教	須之内 元洋	助教	田仲 里江		
助教	長谷川 聡	助教	坂東 奈穂美		
特任教授	小西 敏正	助教	檜山 明子		
		助手	石引 かずみ		
		助手	小田嶋 裕輝		
		助手	柏倉 大作		
		助手	星 幸江		
		助手	御厩 美登里		
		助手	横川 亜希子		
		特任准教授	松永 直子		



6 学生定員及び学生数（平成26年5月1日現在）

1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	85	10	350
看護学部	80	10	340
合計	165	20	690

2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	30	62	92
	2学年	20	69	89
	3学年	27	70	97
	4学年	30	71	101
看護学部	1学年	2	82	84
	2学年	9	74	83
	3学年	10	84	94
	4学年	7	82	89
助産学専攻科		0	9	9
合計		135	603	738

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	7	8	15
	2学年	5	8	13
看護学研究科 博士前期課程	1学年	1	11	12
	2学年	8	29	37
合計		21	56	77

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	2	2	4
	2学年	1	1	2
	3学年	2	2	4
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	2	2
	2学年	1	2	3
	3学年	1	3	4
合計		7	12	19



3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	0	0	0
看護学部	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	1	1
看護学研究科	5	0	5	10
合計	5	0	6	11

7 授業料等

(単位：名)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部	17,000	141,000	282,000	535,800
研究科	30,000	141,000	282,000	535,800
専攻科	18,000	84,600	169,200	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

8 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (平成27年3月31日現在)

奨学金貸与状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構		その他	計
	第1種	第2種		
1学年	52	49	2	103
2学年	46	45	5	96
3学年	49	58	8	115
4学年	48	47	7	102
助産学専攻科	1	0	0	1
大学院1年生	9	4	2	15
大学院2年生	6	1	6	13
合計	211	204	30	445



授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	半額減免者	計
1学年	前期	0	17	17
	後期	0	18	18
2学年	前期	0	17	17
	後期	0	20	20
3学年	前期	0	23	23
	後期	0	21	21
4学年	前期	0	16	16
	後期	0	15	15
助産学専攻科	前期	0	0	0
	後期	0	0	0
大学院1年生	前期	0	3	3
	後期	0	3	3
大学院2年生	前期	0	3	3
	後期	0	2	2
大学院3年生	前期	0	0	0
	後期	0	0	0
合計	前期	0	79	79
	後期	0	79	79



9 学生の入選・受賞

年月	氏名	内容	主催者
平成26年4月	秋元 菜奈実	札幌市電の新型車両「ポラリス」ロゴマーク採用	札幌市
平成26年4月	菊池 はるか	「生物多様性シンボルマーク」最優秀賞	札幌市
平成26年5月	飯島 美咲子	北海道災害看護支援コミュニケーション『EZO看』ロゴマーク採用	北海道災害看護支援コミュニケーション『EZO看』
平成26年6月	加藤 杏奈 神谷 直子 橋本 阿子 広瀬 優衣	日本ハムファイターズ応援作戦会議合同企画「ファンが協力する満員プロジェクト！」ロゴマーク採用	私設応援組織「日本ハムファイターズ応援作戦会議」
平成26年6月	山越 双葉	親子メカトロ教室「走れ！ロボットカー」ポスターデザイン採用	(一社) 日本機械学会
平成26年7月	秋田 胡桃	「2017冬季アジア札幌大会」ポスターデザイン採用	(公財) 第8回冬季アジア大会組織委員会
平成26年7月	吉村 佑馬 横山 航 若山 健太郎 神守 優二 中島 隆紀	「札幌国際芸術祭2014 チ・カ・ホ学生展」出展	札幌国際芸術祭2014
平成26年7月	沼田 香織 平中 麻美子	「奥洞爺」ロゴマーク採用	壮瞥町商工会
平成26年7月	平中 麻美子	「奥洞爺牛」ロゴマーク採用	壮瞥町商工会
平成26年8月	村井 彩音	「2014年度 精密工学会 北海道支部 学術講演会」優秀プレゼンテーション賞	(社)精密工学会
平成26年8月	浦本 昂志	「2014年度 精密工学会 北海道支部 学術講演会」第14回CAD/CGモデリングコンテスト優秀賞	(社)精密工学会
平成26年8月	提案「HAU」 (浦本、佐藤、安田、佐々木)	第9回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース「AXIS金の卵展」入選	アクシスギャラリー
平成26年8月	提案「de-with」 (岡沢、小林、桜井、土山)	第9回 金の卵 オールスター デザイン ショーケース「AXIS金の卵展」入選	アクシスギャラリー
平成26年9月	チーム 「ほっこりSCU」 梅川 未来 山越 双葉 廣石 健太 山代 修平	「第14回ロボット・トライアスロン」デザイン賞	ロボット・トライアスロン運営委員会
平成26年9月	梅川 未来	「第14回ロボット・トライアスロン」ポスターデザイン採用	ロボット・トライアスロン運営委員会
平成26年9月	郷家 智代	「第43回北海道学生陸上競技選手権大会」女子100m7位入賞	北海道学生陸上競技連盟
平成26年9月	郷家 智代	「第43回北海道学生陸上競技選手権大会」大会プログラム表紙デザイン採用	北海道学生陸上競技連盟
平成26年10月	廣石 健太	「SCUキャッチコピー」最優秀賞	札幌市立大学
平成26年10月	渡邊 一生	「SCUキャッチコピー」優秀賞	札幌市立大学



年月	氏名	内容	主催者
平成26年10月	園山 茉生	新斜里町立図書館イメージキャラクターデザイン採用	斜里町役場
平成26年10月	鎌田 遥	北海道ココロカラー採用	北海道ココロカラープロジェクト
平成26年10月	山田良研究室	「Sapporo Section:Architecture美術と建築、これからの札幌」 出展	札幌国際芸術祭2014
平成26年10月	神守 優二	「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」 優秀賞	札幌市
平成26年11月	沼田 幸太郎	「さっぽろ学生ITアイディアコンテスト2014」 優秀賞	(一財) さっぽろ産業振興財団



10 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	吹奏楽部	
3	軽音楽部	
4	美術部「noumenon (ノメノン)」	
5	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	第23回YOSAKOIソーラン祭り セミファイナル 審査 優秀賞
6	デザイン部「GNING (グニング)」	
7	服飾制作部「Alice (アリス)」	
8	写真映像部「SEED (シード)」	
9	演劇部「デンコラ」	
10	茶道部「Cha部」	
11	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
12	フットサルサークル「SCUギャラクシー」	
13	創作活動サークル「創・KIZ・」	
14	ダンスサークル「VOLUME (ボリューム)」	
15	バドミントンサークル	
16	映像制作研究サークル「Vomish (ボミッシュ)」	
17	陶器模様研究会「ワレモノ」	
18	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
19	スポーツサークル「すぼさ」	
20	野球サークル「ウップス！」	
21	国際協力／ボランティアを考える会 (同好会) 「AMIGO (アミーゴ)」	
22	地域交流ボランティア同好会「act (アクト)」	
23	アクティ部 (同好会) 「ナースポ」 ナース+スポーツ	
24	バドミントン同好会	
25	アウトドア同好会「PEAK (ピーク)」	
26	コピーダンス同好会「CO*Peace (コピーズ)」	
27	ハンドメイド同好会「はらっぱ」	
28	バレーボール同好会	
29	合唱同好会	
30	ダンス同好会「ROOM (ルーム)」	
31	天文観測同好会「スピカ」	



11 後援会

後援会（平成19年2月発足）は、学生の福利厚生推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

（平成26年度）

役員	(会 長) 小林 宏史 (副会長) 中田 保之 (理 事) 鎌田 久美子、土屋 節子、今野 裕二、蛭谷 勝浩、藤島 健志、大西 和恵、高橋 節子 (監 事) 三浦 正、本間 日出春
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、就職講話、資格取得支援、国家試験対策） ・ 後援会報「SSA News」発行
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

12 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
平成26年4月	平成26年度履修要項（履修の手引き、授業計画）
平成26年4月	平成26年度学生生活ハンドブック
平成26年4月	2015大学案内
平成26年5月	平成27年度デザイン学部3年次編入学学生募集要項
平成26年5月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
平成26年5月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING2014 札幌市立大学研究論文集第8巻第1号
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
平成26年6月	平成27年度入学者選抜要項（デザイン学部・看護学部）
平成26年6月	平成27年度看護学部3年次編入学学生募集要項
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
平成26年6月	平成27年度学生募集要項（助産学専攻科）
平成26年6月	札幌市立大学研究・成果事例集2013
平成26年7月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
平成26年7月	札幌市立大学研究成果報告集2013
平成26年9月	平成27年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 特別選抜）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成26年11月	平成27年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
平成27年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第8号
平成27年3月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2015 図録）
平成27年3月	平成26年度 デザイン研究科修了研究梗概集
平成27年3月	平成26年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書
平成27年3月	産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成 平成26年度最終報告書
平成27年3月	ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業 平成26年度成果報告書



13 施設

1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(平成27年3月31日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	83	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
COCキャンパス	764.43	764.43		

2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・COCキャンパス (施設配置図・校舎配置図)

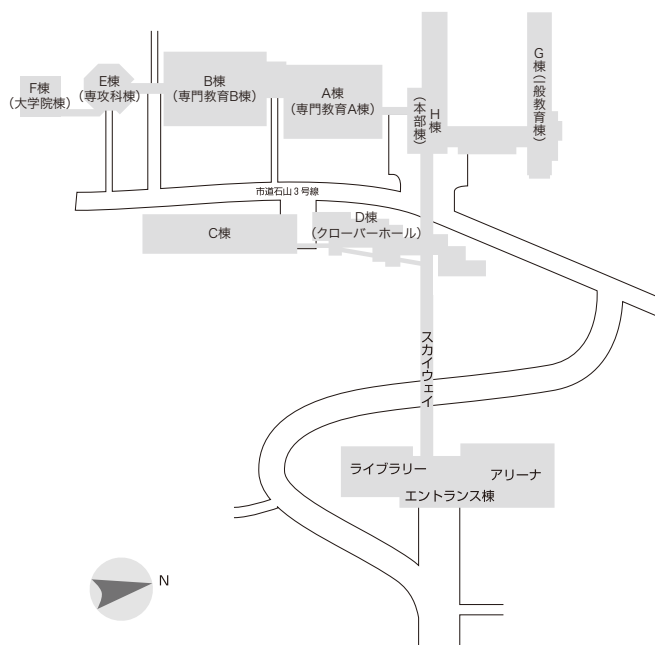
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



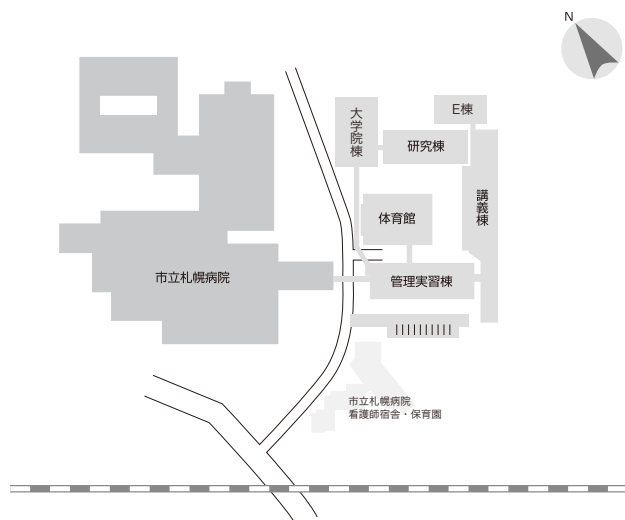
桑園キャンパス

〒060-0001

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

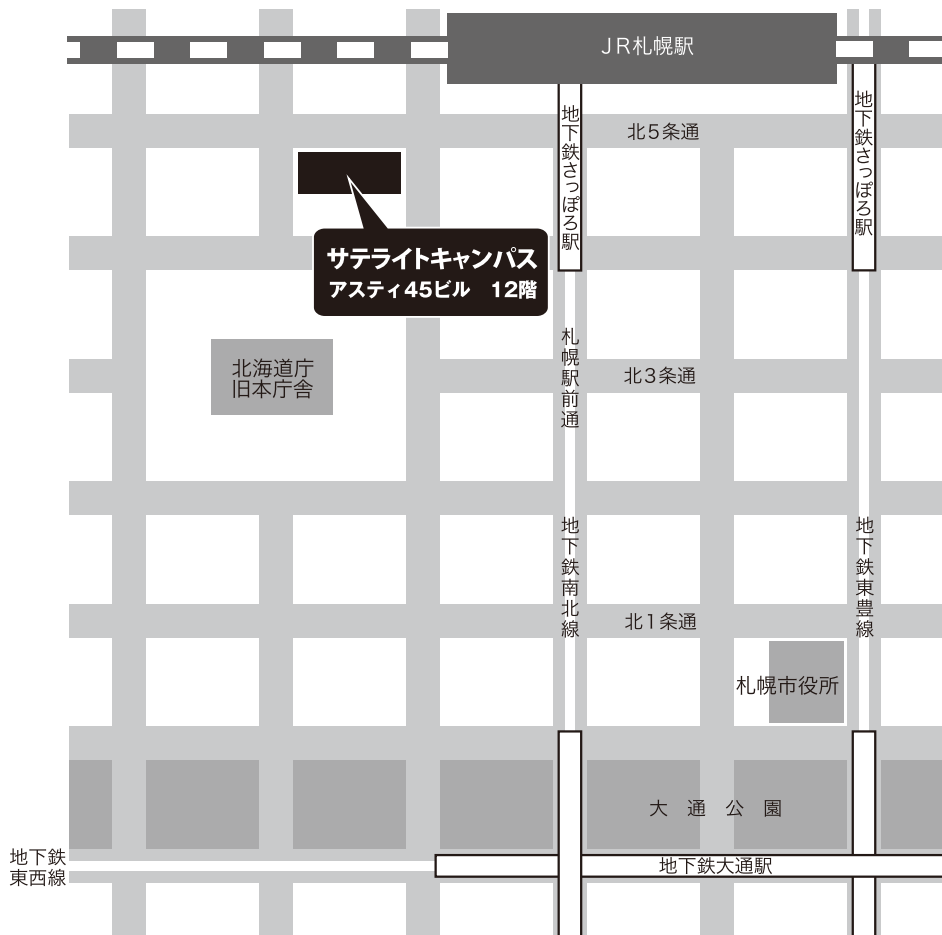
TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506

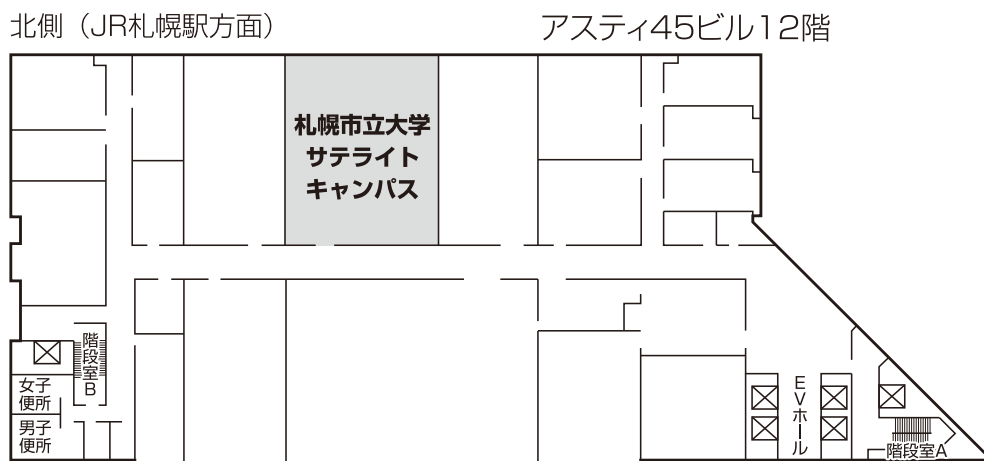




サテライトキャンパス
 〒060-0004
 北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階
 TEL : 011-218-7500 (代)
 FAX : 011-218-7507



〈施設配置図〉





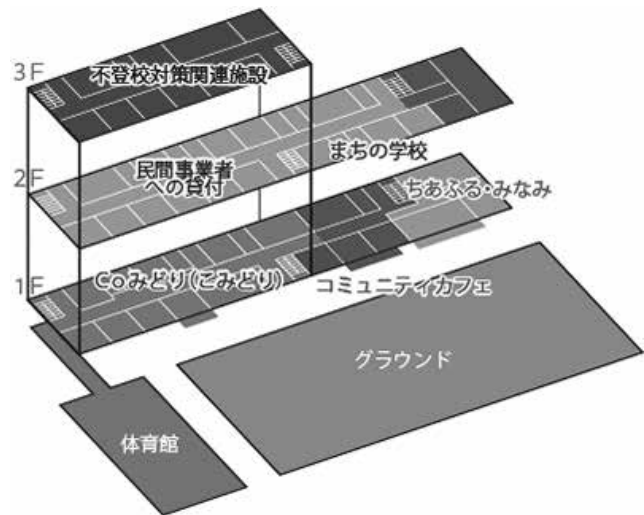
COCキャンパス

〒005-0014

北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2 まこまる（旧真駒内緑小学校）内

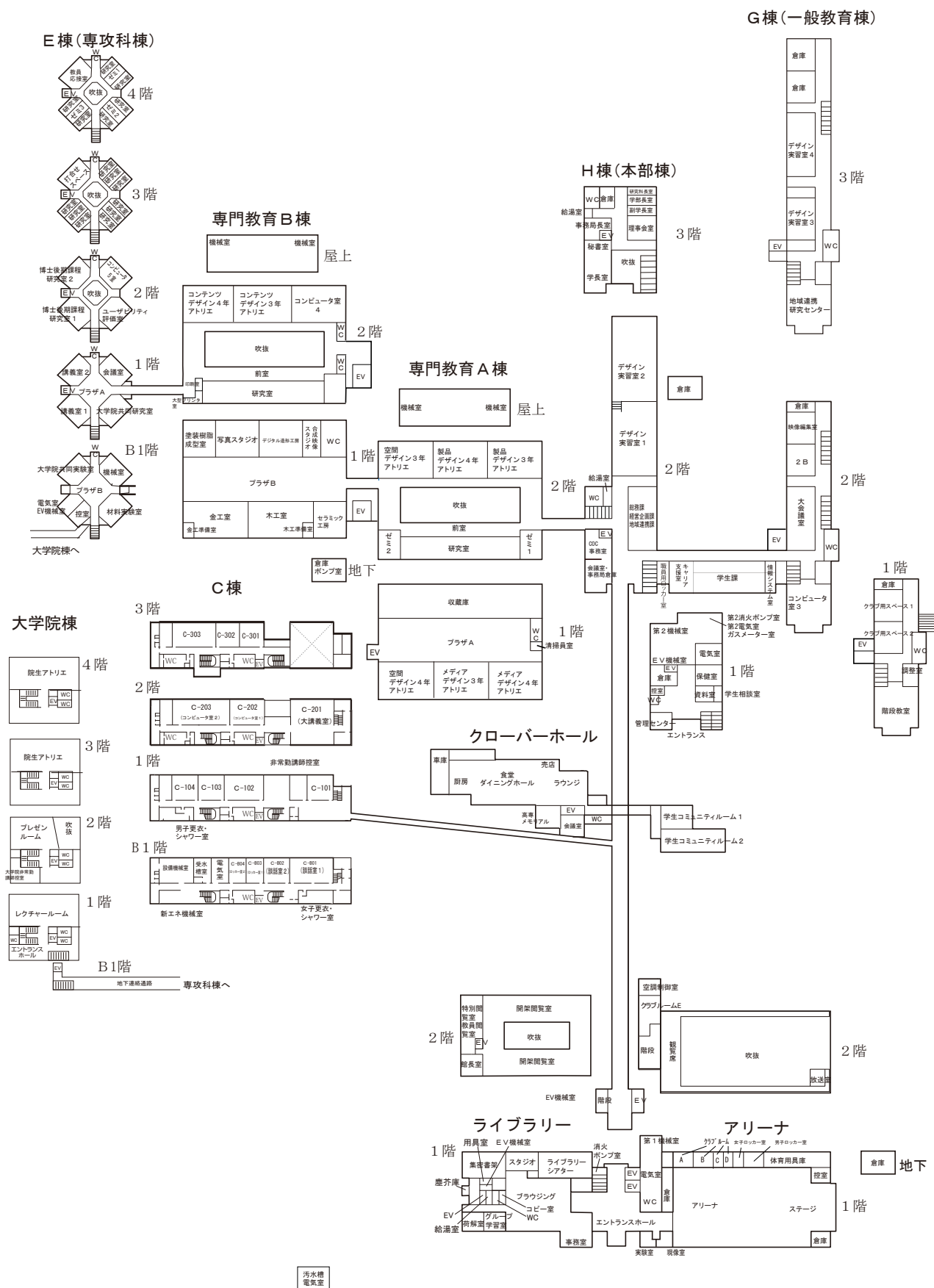
TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676



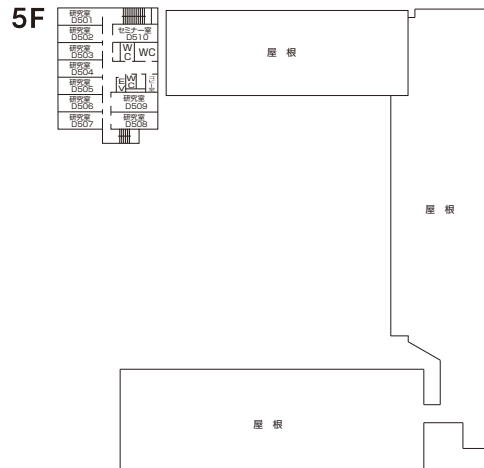
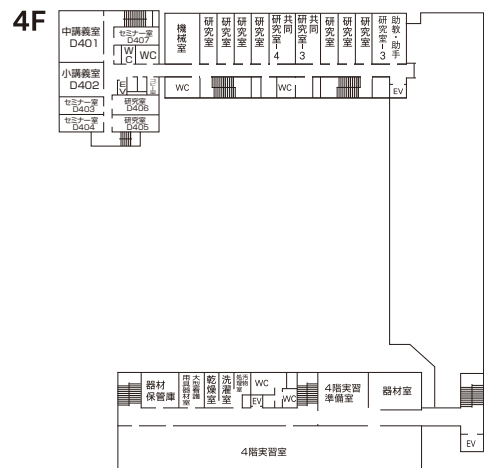
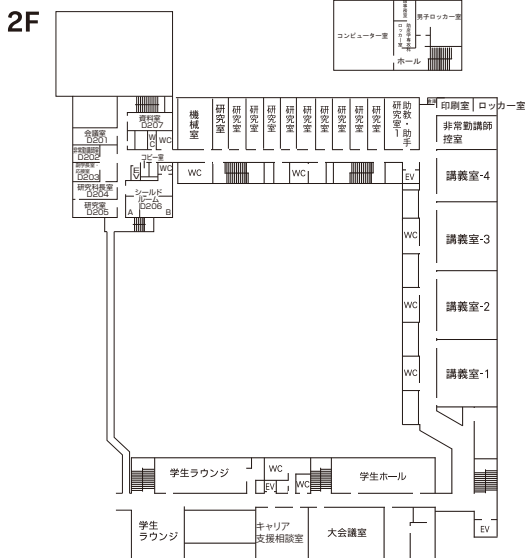
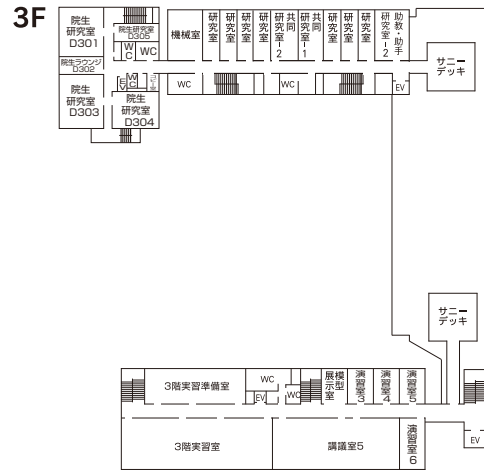
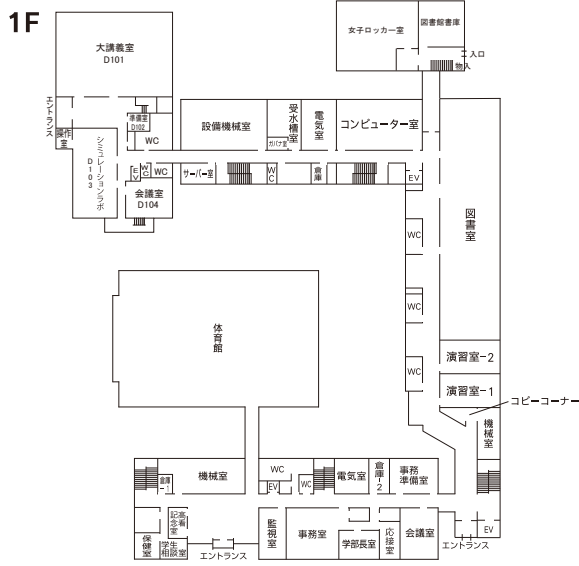


芸術の森キャンパス〈校舎配置図〉



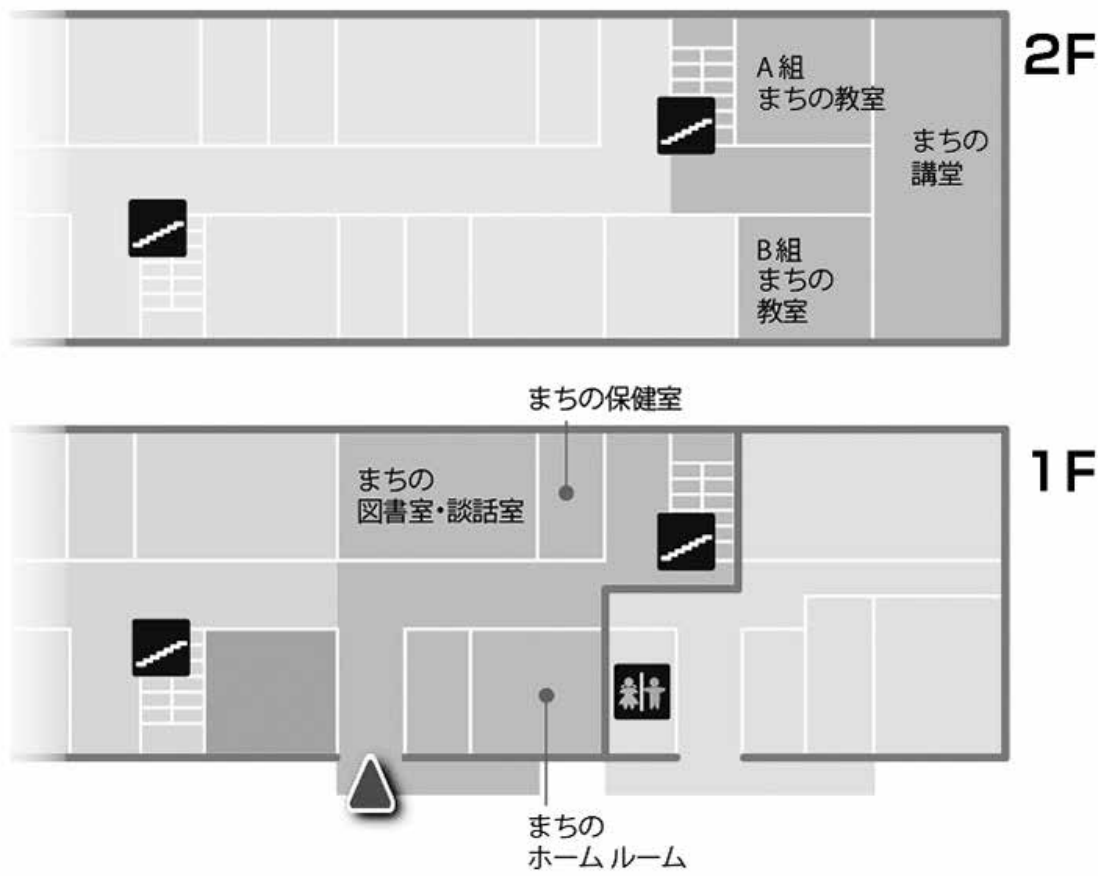


桑園キャンパス〈校舎配置図〉





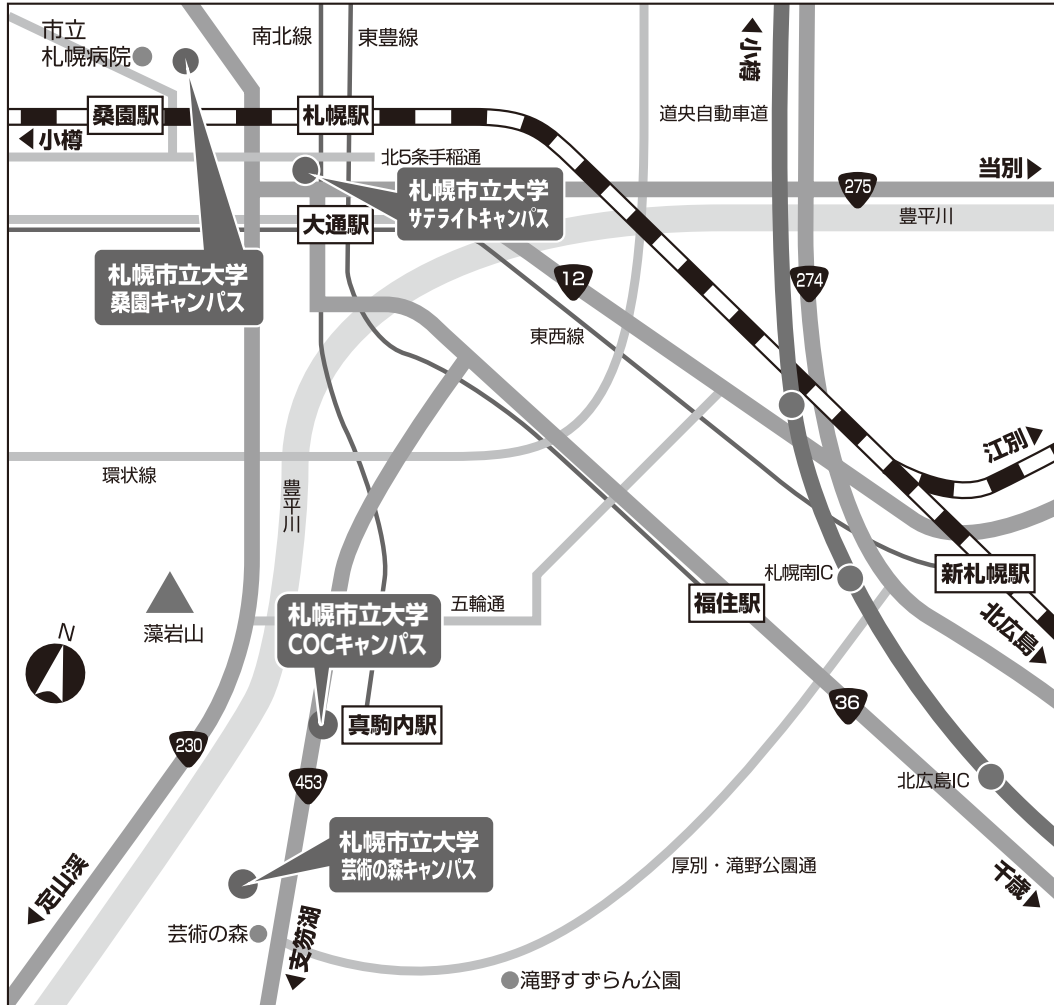
COCキャンパス〈校舎配置図〉



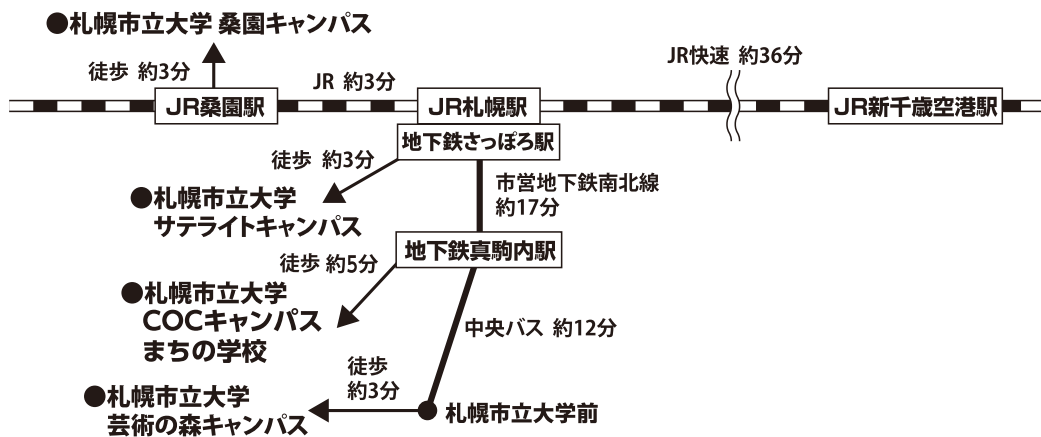


14 大学へのアクセス

1) アクセスマップ



2) 交通案内





15 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞: 後藤優太・首藤翠 (デザイン学部 第4期生)
作曲: 堀 彩菜 (デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける
新たな希望をたぎらせて
さあ飛び出そう
翼広げて
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち
これからは別々の道を往く
強い風に吹かれ
立ち止まりかけても
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
同じ空の下には今も
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある
僕らには支えあえる手がある
あの地平の彼方にはきっと
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある
その壁の向こうにはきっと
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 首藤 翠・後藤 優太
作曲: 堀 彩菜

Left page of the musical score for 'Future Hand'. It includes piano accompaniment and vocal lines with lyrics. The score is divided into sections A, B, and C. Section A starts with a tempo marking of *Allegro*. The lyrics are:
からぶよく かぜが 吹く 空を 飛ぶ 翼を 広げて 光の 指す方へと
あ と び だ - そ う つ ば - さ り の け - て ち か り の せ り は へ と 一 び く ら
ら た な せ ぼ う を た ぎ る さ - え - て
よ い か - せ に ぶ - か れ た ら ち - ま り け っ て も お そ れ ず あ る 世 界 づ づ け て び く ら
に は み ち び く ら か ら がある び く ら に は 心 の へ ら こ ころ がある せ
の か べ の 一 ち こ う に は ま っ と き み の ま っ せ かい がある 一 び く ら
に は つ くり あげ る て がある び く ら に は 支 え あ え る て がある ね

Right page of the musical score for 'Future Hand'. It continues the piano accompaniment and vocal lines with lyrics. The lyrics are:
に は つ くり あげ る て がある び く ら に は 支 え あ え る て がある ね
の ち - え い の - か な - た - に は ま っ と き み の - そ の せ かい がある
れ か ら は へ つ へ - つ の み ち を 一 び く ら
な し - そ の - し た に は い ま ち は し り - つ づ け る - な
か ま だ い る ち ら う
に は つ くり あげ る て がある び く ら に は 支 え あ え る て がある ね